

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：笠置町

プロジェクト名	だれもがいきいきと住み続けられるふるさとプロジェクト	実施期間	平成29年度～平成30年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>笠置町は、日帰り温泉施設の「わかさぎ温泉笠置いこいの館」、カヌーやボルダリング体験、キャンプ場で有名な木津川河川敷、巨岩信仰の拠点であった笠置山や笠置寺、また桜やもみじなど、歴史・景観・自然・文化・スポーツ等の地域資源に恵まれている。しかしその魅力を十分に活かしておらず、近年は近隣の日帰り温泉施設の設置や新たな観光施策の展開等により、笠置町への入込客数の減少が課題となっている。</p> <p>また、まちづくりや地域活性化の原動力となる若年層の流出や少子・高齢化により、本町の人口は平成30年3月末では昭和22年のピーク時に比べて半数以下となる1,374人まで減少しており、農業や産業は後継者が不足し、雇用や観光交流など、地域活力が減退するなどの問題が顕著に表れている。</p> <p>これらの課題に対応するため、これまでも空き家対策事業、子育て支援事業や各種観光イベント事業等様々な事業を実施し、移住促進や交流人口の増加等を目指してきた。</p> <p>昨年、地方創生事業の一環として多世代交流施設「つむぎテラス」や駅舎を店舗型に改装した「駅ナカstation!!」を設立した。笠置町唯一の駅を中心とした住民や観光客の交流施設として重要な役割を担うものであるため、今後の運用に期待するとともに本来の役割を十二分に発揮できるよう注力する必要がある。</p> <p>そして、「笠置まちづくり会社」は今年度で実働3年目であり、新たな雇用を生み出し、交流施設と連携して人材や産業の受け入れ等を果たすことを目指す。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>美しい自然と、史跡に恵まれた笠置町の魅力を改めて見直し町内外に発信するとともに、駅周辺地域の小さな拠点づくりの促進、町内観光名所や拠点と各集落間を連絡する公共交通ネットワークの利便性の向上や住環境整備等により、子どもから高齢者までが、世代を越えて交流できる住み良いまちづくり施策を総合的に実施し、人口流出の抑制、町外からの移住を促進し魅力ある持続可能な地域の再編を目指す。</p>						
	総事業費（千円）	37,604	本年度事業費（千円）	11,955	交付金額（千円）	2,836	
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	まちづくり事業補助金	交付対象事業	区等が行う町づくりのための地域コミュニティ・活動事業に対する補助		幅広い補助項目により積極的な補助金申請が行われ、地域づくりの意識向上		
	駅前整備・移住定住事業	交付対象事業	地方創生事業で取得した笠置駅庁舎・移住定住施設の所有権移転登記事業		観光客の利用施設が増えたことにより、新たな客層を得られた		
	敬老会事業	交付対象事業	高齢者を敬い長寿を祝うための敬老会事業に対し補助		高齢者の外に出る機会・周囲と触れ合う機会を設けることで、活力ある高齢者の増加		
	子ども子育て支援計画策定業務	交付対象事業	幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画		子育てのしやすい環境づくりの基礎となる計画書を作成		
	母子手当支給事業	交付対象事業	18歳までの子どもを養育母子世帯に1千円/月支給		9世帯12人に支給		
	ボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	誰もがいきいきと活動できるボランティア活動に対する情報を住民に提供等する		制度を活用しボランティアを受けた人数が125人となり、独居・高齢者の不都合の解消		
	空き家バンク	関連事業	町内の空き家の有効活用を図り、地域の少子高齢化の軽減及び過疎化の解消を促し、若年層の定住化や町内人口の増加、地域活動の維持、活性化に寄与する。		空き家利用者の増加		
住民協働事業	地域福祉推進事業	交付対象事業	見守り活動によりお届けする配食サービス、地域住民交流の場としてのふれあいサロン等の実施		75歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯の方への配食サービス(利用者30人 延567食) 65歳以上の方を対象に、いきいきふれあいサロンの実施(参加者延579人) 高齢者の生きがい対策として書道教室やちぎり絵教室等の実施(参加者延487人)		
	観光誘致・イベント事業	交付対象事業	実行委員が主体となり一年を通じて観光イベントを実施し、笠置町の魅力を宣伝するとともに、交流人口を増やす。		さくらまつり・夏まつり・もみじ祭り・鍋フェスタのイベントを開催		
	観光誘致・イベント事業	関連事業	地方創生の一環で魅力発信を続けており、実際に笠置町に人を呼んだうえで直接魅力を伝える。		11月1日から30日の間 笠置寺境内にある「もみじ公園」のライトアップ 期間中の入込客数：3,144人		
	観光誘致・宣伝事業	交付対象事業	町の観光宣伝及び誘致等を行っている観光協会の活動支援。		観光協会の参画による各種イベントの企画・立案 安定した笠置キャンプ場の運営		
	福祉バス運行事業	関連事業	JR笠置駅と町内6集落を結ぶバスの運行		乗車人員：12,582人/年		
住民が取り組む事業							
成果指標①	成果指標の目標数値	笠置町の空き家への移住 H28:2組 → H30:5組		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	H29:3組 H30:1組		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値を下回ったため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	観光入込客数 H28:261千人 → H30:261千人		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	H30:230千人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値を下回ったため			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	福祉バス運行事業（JR笠置駅と町内6集落を結ぶ）等の交通ネットワークの維持に向けた取り組みは、交通分野の課題解決にとどまらず、町づくり・観光さらには、健康・福祉・教育及び環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすものであり、子どもから高齢者までを対象とした各種の支援策を通じて、高齢者等に優しい町づくりを進めるとともに、JR笠置駅の無人化対策事業により観光笠置としてのイメージダウンの回避にもつながった。また、「鍋-1がらブリ」「さくらまつり」「もみじまつり」など四季折々の笠置町の魅力を発信するとともに、住民も参加して作り上げた映画「笠置ROCK!」を東京で上映するなど、外部へも発信を行い、今まで以上に笠置町を広めることとなった。						
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。						
	関連事業との連携効果	外部への魅力発信に力を入れたことで、観光入込客数は目標数値に届かなかったものの、H29年の223千人と比較すると7千人の増という結果となり、一定の成果が表れた。					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：笠置町

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	府と町の制度を併せることにより、医療助成体制や移住促進体制の強化が図られた。 また、地域イベント助成事業の活用が図れた。
	住民の自治意識を高める成果	各種イベントや活性化事業を通じて、住民が笠置町の魅力発信を目にする機会が増えるとともに、直接携わる機会も増えたことにより、笠置町を見つめなおす意識が高まった。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。